

## 土壌医検定参考書および既出問題集の修正のお願い

一般財団法人 日本土壌協会

土壌医検定参考書は現在までに 1 級参考書は第 6 刷、3 級参考書は第 8 刷が刊行されており、土壌医検定試験既出問題集は 4 版です。その過程で修正すべき箇所が明らかとなり、その都度修正してきております。また、昨年度発行いたしました新版 2 級参考書の一部にも修正すべき箇所がありました。

土壌医検定参考書は試験問題出題のベースとなりますので、今回、以下のように正誤表をまとめました。検定試験の出題についてはこれまで修正箇所に係る問題は避けるようにしてきました。しかし、知識習得の面で多くの方々にご迷惑をおかけしており、深くお詫び申し上げます。正誤表では、対象となる参考書の刷版と正誤内容を掲げておりますので、大変お手数をおかけいたしますが、お手持ちの参考書の刷版をご確認の上、該当箇所を修正して頂きますようお願い申し上げます。

また、既出問題集の一部に誤りがありました。大変申し訳ございませんが、これについても該当箇所を修正して頂きますようお願い申し上げます。(てにをは等の修正は除きました。)

### 1. 土壌医検定参考書 1 級の正誤表

該当箇所	原文等 (誤)	修正内容 (正)
1～6 刷 P5、右段 6～7 行目	ハウレンソウ ( <u>アカザ科</u> )	ハウレンソウ ( <u>ヒユ科</u> )
1～6 刷 P7、左段 1 行目	アブラナ科野菜根こぶ病 ( <u>糸状菌</u> )	アブラナ科野菜根こぶ病 ( <u>原生生物</u> )
1～6 刷 P67、左段 18～21 行目	土壌のリン酸過剰は一般にカリウム、マグネシウム等の交換性塩基および鉄、 <u>ホウ素</u> 、亜鉛、 <u>モリブデン</u> 等の微量元素の作物への吸収を抑制する傾向があり、	<u>ホウ素</u> 、 <u>モリブデン</u> を削除
1～6 刷 P89、図 1-102	横軸の目盛：0、 <u>0</u> 、2、3、4	横軸の目盛：0、 <u>1</u> 、2、3、4
1～6 刷 P98、左段 9 行目	苦土/加里比 (当量比) では <u>2</u> 以上が多い。	苦土/加里比 (当量比) では <u>2～6</u> が多い。
1～6 刷 P144、右段 8 行目	遊走子を形成する病原 <u>害</u> の多発生	遊走子を形成する病原 <u>菌</u> の多発生

1～6刷 P185、右段 P8～23 行目	<u>ウ、現在検討中の土壌微生物測定・評価方法</u> <u>現在、行われている培養による方法では、(中略)、などがある。</u>	削除
1～6刷 P192、表 3-5	キタネグサレセンチュウを減らす対抗品種(草種)の欄 ハイオーツ(エンバク野生種) ソイルクリーン(ギニアグラス) ねまへらそう(スーダングラス)	<u>アフリカントール(マリーゴールド)</u> を追加
同上	ミナミネグサレセンチュウを減らす対抗品種(草種)の欄 ハイオーツ(エンバク野生種) ソイルクリーン(ギニアグラス) <u>ねまへらそう(スーダングラス)</u> ネマキング・ネマックス(クロタラリア)	<u>ねまへらそう(スーダングラス)</u> を削除、 <u>アフリカントール(マリーゴールド)</u> を追加
同上	サツマイモネコブセンチュウを減らす対抗品種(草種)の欄 つちたろう(ソルガム)、ネマコロリ(クロタラリア)、ソイルクリーン(ギニアグラス)、 ネマキング・ネマックス(クロタラリア)、 <u>コブトリソウ</u>	<u>アフリカントール(マリーゴールド)</u> を追加、 <u>コブトリソウ(クロタラリア)</u> と修正

## 2. 土壌医検定参考書 2 級の正誤表

該当箇所	原文等(誤)	修正内容(正)
新版 P6、右段 24 行目	生産年月日等を記載した保証票の添付	<u>日</u> を削除
新版 P14、表 2-7	普通作物の pH5.5～6.5 の欄 <u>ジャガイモ、イネ、エンバク、ライムギ、バレイショ</u>	<u>ジャガイモ、バレイショ</u> を削除
新版 P15、右段 23～25 行目	インゲン、イチゴなどは濃度障害を受けやすく、 <u>ホウレンソウ</u> 、 <u>ハクサイ</u> などは	<u>ホウレンソウ</u> を <u>トマト</u> と修正

新版 P15、右段 26 行目	ほぼ中程度である(表 2-7)。	ほぼ中程度である(表 2-8)。																																																																																																	
新版 P16、表 2-8	EC(1:5)目安が 0.8~1.5 の野菜の欄 キャベツ、カリフラワー、ブロッコリー、ネギ、ニンジン、パレイショ、サツマイモ、 <u>トマト</u> 、以下略	<u>トマト</u> を削除																																																																																																	
新版 P40、写真 2-15	ナスのマンガン過剰症(右)	ナスのマンガン欠乏症(右)																																																																																																	
新版 P76、図 4-16	「生長阻害点水分」と「初期しおれ点」の間の「 <u>枯れ始める</u> 」	「初期しおれ点」の下に「 <u>枯れ始める</u> 」を移動																																																																																																	
新版 P98、左段 15 行目	土壌中には、原生動物、微小藻類、センチュウ類	土壌中には、原生物、微小藻類、センチュウ類																																																																																																	
新版 P117、27 行目	糸状菌の病気でもアブラナ科の根こぶ病は	アブラナ科根こぶ病菌は																																																																																																	
新版 P123、表 6-10	<p>マリーゴールド「アフリカントール」のジャワネコブセンチュウの欄に○、クロタラリア「ネマコロリ」、ギニアグラス「ソイルクリーン」、ソルゴー「つちたろう」、マリーゴールド「アフリカントール」のアレナリアネコブセンチュウの欄に○、ギニアグラス「ナツカゼ」のミナミネグサレセンチュウの欄の○を削除(空欄)、エン麦野生種「ハイオーツ」のミナミネグサレセンチュウの欄の_を○と修正</p> <p style="text-align: center;">修正反映後</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作物名</th> <th rowspan="2">対抗品種</th> <th colspan="3">ネコブセンチュウ</th> <th colspan="3">ネグサレセンチュウ</th> <th rowspan="2">ナミイシユウセンチュウ</th> <th rowspan="2">ダイズノセンチュウ</th> </tr> <tr> <th>サツマイモ</th> <th>キタ</th> <th>ジャワ</th> <th>アレナリア</th> <th>キタ</th> <th>ミナミ</th> <th>クミ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロタラリア</td> <td>ネマキング</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ネマコロリ</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ギニアグラス</td> <td>ソイルクリーン</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ナツカゼ</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>スーダングラス</td> <td>ねまへらそう</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ソルゴー</td> <td>つちたろう</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>エン麦野生種</td> <td>ハイオーツ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>マリーゴールド</td> <td>アフリカントール</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		作物名	対抗品種	ネコブセンチュウ			ネグサレセンチュウ			ナミイシユウセンチュウ	ダイズノセンチュウ	サツマイモ	キタ	ジャワ	アレナリア	キタ	ミナミ	クミ	クロタラリア	ネマキング	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○		ネマコロリ	◎	○	○	○	×	○	○	○	ギニアグラス	ソイルクリーン	◎	◎	◎	○	○	○	○	○		ナツカゼ	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	スーダングラス	ねまへらそう	○	◎	○	○	○	○	○	○	ソルゴー	つちたろう	◎	○	○	○	○	○	○	○	エン麦野生種	ハイオーツ	○	○	○	◎	○	○	○	○	マリーゴールド	アフリカントール	○	○	○	○	◎	◎	×	○
作物名	対抗品種	ネコブセンチュウ			ネグサレセンチュウ			ナミイシユウセンチュウ	ダイズノセンチュウ																																																																																										
		サツマイモ	キタ	ジャワ	アレナリア	キタ	ミナミ			クミ																																																																																									
クロタラリア	ネマキング	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○																																																																																										
	ネマコロリ	◎	○	○	○	×	○	○	○																																																																																										
ギニアグラス	ソイルクリーン	◎	◎	◎	○	○	○	○	○																																																																																										
	ナツカゼ	◎	◎	◎	○	○	○	○	○																																																																																										
スーダングラス	ねまへらそう	○	◎	○	○	○	○	○	○																																																																																										
ソルゴー	つちたろう	◎	○	○	○	○	○	○	○																																																																																										
エン麦野生種	ハイオーツ	○	○	○	◎	○	○	○	○																																																																																										
マリーゴールド	アフリカントール	○	○	○	○	◎	◎	×	○																																																																																										
新版 P123、9 行目	<u>クロタラリア(こぶとり草)</u>	<u>クロタラリア(コブトリソウ)</u>																																																																																																	
新版 P123、10 行目	<u>キタネグサレセンチュウ</u>	<u>キタネコブセンチュウ</u>																																																																																																	
新版 P198、右段 18 行目	生育の適正 pH は、 <u>pH5.5~6.5</u>	生育の適正 pH は、 <u>pH5.0~6.5</u>																																																																																																	

### 3. 土壤医検定参考書3級の正誤表

該当箇所	原文等（誤）	修正内容（正）
1～8刷 P35、図3-5	作物の生育適正：5.2、6.0、6.5の破線	破線を削除
1～8刷 P60、図3-24	「生長阻害点水分」と「初期しおれ点」の間の「 <u>枯れ始める</u> 」	「初期しおれ点」の下に「 <u>枯れ始める</u> 」を移動
1～8刷 P67、表3-8	白菜根こぶ病の病原菌の種類 の欄の <u>糸状菌</u>	原生生物と修正

### 4. 土壤医検定試験既出問題集の正誤表

該当箇所	原文等（誤）	修正内容（正）
1～4版 P215、2014年度の問の コメント	コメント： <u>マリーゴールドはネグサレセンチュウに効果がある。</u>	コメント： <u>マリーゴールドはネコブセンチュウよりもネグサレセンチュウに効果が高い。</u>
1～4版 P295、24～26行目	土壌中のリン酸過剰は一般にカリウム、マグネシウム等の交換性塩基及び鉄、亜鉛、 <u>モリブデン</u> 等微量元素の作物への吸収を抑制する傾向があり、	<u>モリブデン</u> を削除
1～4版 P354、表（センチュウの種類と対抗草種）	ネコブセンチュウを減らす対抗草種の欄 ソルガム、クロタラリア、ギニアグラス	<u>マリーゴールド</u> を追加